

# にぎおかの住民ふくし

第16号  
令和2年4月1日  
発行  
賑岡町社会福祉協議会  
会長 飯島貞夫  
(大月市社協内)  
電話 23-2001

## ご協力いただいた皆様、 大変ありがとうございました!!! 令和元年度 赤い羽根

# 共同募金運動

(令和元年10月1日)  
令和2年3月31日

赤い羽根共同募金は  
皆様からの心温まるお気持ちで、  
地域を良くする活動です。



「自分の町を良くするしくみ」を  
スローガンに、毎年恒例となってい  
る赤い羽根共同募金が、令和元年10  
月1日から令和2年3月31日まで実  
施されました。

賑岡地区においては今年度も、区  
長さんや自治会長さんに各世帯から  
募金をお願いをして、募金の取りま  
とめをしていただきました。その結  
果、705,664円もの募金を集  
めることができました。ご協力いた  
だいた皆様に感謝申し上げます。

集められた募金は山梨県共同募  
金会で取りまとめ、大月市に配分さ  
れます。配分された募金は民間の地  
域福祉を支える活動に使われていま  
す。具体的には、ふれあいいきいき



皆様から集められた善意の気持  
ちは、今後とも有意義に使われてい  
たきます。  
ご協力ありがとうございました。  
今後ともよろしく申し上げます。

サロンの運営や市内各地区老人憩いの  
の家具品整備及び修繕事業、子ども  
の遊び場整備事業などに使われてい  
るほか、友愛訪問事業やボランティア  
育成事業など、大月市内の地域の  
ための事業から障がい者などの社会  
福祉施設の整備、修繕まで様々な社  
会福祉活動に使われています。特に  
賑岡地区においては、老人憩いの家  
の整備修繕事業のほか、地域と学生  
との交流活動や買い物行楽事業、あ  
んしんカード事業など各種事業に充  
てられています。

●令和元年度の募金額について

募金種別	金額	募金者
戸別募金(世帯)	567,400円	1,112世帯の地域の皆様
大口募金(企業等)	120,000円	(株)龍美建設・賑岡診療所・(有)八光社・ 福祉工房・(株)WIZnet・(株)大月自動車 学校・(株)ナガオカ精密・シミズ光 機(株)・(株)平井製作所・矢貝商事(株)・ 山の都福祉会・(株)卯月林業・中島虎 次郎・飯島林子(順不同・敬称略)
募金箱設置	18,264円	(株)大月自動車学校・福祉工房・山の 都福祉会・賑岡診療所・森屋荘・フリス スクールオンリーワン (順不同・敬称略)
募金額合計	705,664円	



赤い羽根共同募金

●賑岡地区に対する、主な共同募金の使い道

募金年度	事業年度	地区	事業内容
H23	H24	岩殿	老人憩いの家 屋根塗装
H24	H25	西奥山	老人憩いの家 カーペット張替
H25	H26	石動団地	集会場 カーペット張替
H26	H27	浅利団地	集会場 ガス給湯設備等
H27	H28	①強瀬、②上畑倉	①②ともに老人の憩いの家豊整備
H28	H29	①浅利、②日影	老人憩いの家①豊整備②椅子等
H29	H30	①下畑倉、②東奥山	老人憩いの家①放送機器②豊整備
H30	R1	①神倉、②ゆりヶ丘	①災害時用毛布②集会場照明設備
R1	R2	①岩殿、②西奥山	①AV機器整備②エアコン整備

共同募金事業における  
小学生と3地区社協の  
協働作業を行いました  
10月30日(水) 大月東小学校にお  
いて、毎年恒例となっている大月東  
小学校の児童と賑岡・大月・真木の  
3地区社協との協働事業として、植  
栽作業を行いました。当日は、6年  
生に用意してもらった地域へのメッ  
セージ付きのプランターに、地域の  
方々と協働で花の植え付け作業を行  
い、交流を深めました。花を植えら  
れたプランターは、大月商店街を中  
心に、賑岡地区、大月地区、真木地  
区の商店や医療機関、福祉施設など  
に募金箱とともに設置しました。(募  
金箱は12月末に回収しました)  
プランターを設置させていただい  
た商店や施設の皆様、並びに水やり  
等にご協力いただいた皆様に感謝い  
ます。

## 終活をみんなで明るく♪

「自分の人生の最後を自分らしく！」を実現させる  
ために作られたのが「私の老後の生き方暮らし方  
ノート」です。老後という高齢者のイメージで  
すが、誰でも気軽に取り組める内容となってい  
ますので、自分の将来設計のきっかけとして、老若  
男女問わずみんなで取り組んでいただけたら光榮  
です。ぜひご活用ください!



サロン(ゆりの会)で取り組んでいる様子



たします。賑岡地区内でのプラン  
ター設置箇所は、次のとおりとなっ  
ています。  
【プランター設置箇所(賑岡地区内)】  
(株)大月自動車学校(募金箱設置)・  
賑岡診療所(募金箱設置)・福祉工  
房デイサービス(募金箱設置)・山  
の都福祉会(募金箱設置)・森屋荘(募  
金箱設置)・フリースクールオンリー  
ワン(募金箱設置)・(株)WIZnet  
第2工場・浅利公民館・神倉公民  
館・上畑倉公民館・神宮橋バス停・  
西奥山公民館前バス停・ゆりヶ丘集  
会場前ロータリー・タイムリー・東  
京電力駒橋制御所(順不同・敬称略)





# 賑岡地区社協では、

## 住民相互のささえあいや たすけあいを推進しています！

### ふれあいいきいきサロンに 参加してみませんか？

「ふれあいいきいきサロン」は地域の住民の皆様が集える場所を通じて地域での「仲間づくり」「出合いの場づくり」「健康づくり」など行う活動です。賑岡地区でも現在、7か所のサロンがあり、月に1回程度、地区の公民館などで活動しています。活動内容は各サロンでボランティアを中心としてレクリエーションや体操など様々な活動が行われ、地域における住民相互のささえあいや、交流の輪を広げる場となっています。

興味のある方、参加してみたい方はご相談ください。

## 地域見守りマップに 取り組んでみよう!!!

【見守りマップとは】地域の「気になる人（支援が必要と思われる人）」とその人への住民の関わりを地図に落とし込み、地域住民の繋がりなどを把握して、その地域の福祉課題等を見出すものです。

【なぜ必要なの？】地域福祉を進めるには、「公助」に加えて「共助」と「自助」が機能しなければ効果的に進みません。公助のみに頼ると制度やサービスの隙間が生まれます。この隙間に対応できるのは、「住民同士の支え合い（共助）」です。

【見守りマップから調べること】  
・要支援者に誰がどのような事で関わっている？  
・助けあいのキーパーソン（世話焼

【賑岡地区ふれあいいきいきサロン一覧】

サロン名	会場
栃の実会	西奥山公民館
サロンこわぜ	強瀬公民館
壽恵広の会	下畑公民館
すみれ会	日影公民館
ゆりの会	ゆりヶ丘自治会館
なでしこの会	上畑公民館
神倉集いの場	神倉公民館



きさんなど）はいいる？  
・要支援者は、どのような自助努力をしている？  
・住民の皆さんが寄り集まる場所はどこですか？（畑、〇〇さんのお宅...など）  
・地域にどのような生活課題がありますか？（高齢化、買い物、交通の便など）  
これらを整理して、住民みんなが要支援者への新たな支援方法を考えたり、地域の課題を抽出したりします。まずは、ご相談ください!!!

## ご近所たすけあい メッセージボード

9月7日（土）東奥山の福祉工房デイサービスの秋祭りへ賑岡地区社協でお邪魔し、「ご近所助け合いメッセージボード」を設置して、来場した大勢の方にご近所の助け合いとしていことやできそうなことをメッセージカードに記入していただきました。賑岡地区社協ブースでは、ボランティアとして来場していた市議会議員の鈴木基方さんにお手伝いいただき、この取り組みをPRしていただきました。

会場のメッセージボードはたくさんのカードにより埋め尽くされ、福祉活動のための貴重なご意見をいただけたと同時に、皆さんの『ふくし

## 平塚市へ先進地視察へ行ってきました 〜つながり、ささえあう地域に〜

11月13日（水）に賑岡地区社協の視察研修として、役員の皆さんで神奈川県平塚市大神地区にある町内福祉村「大神地区よりきの郷」を訪問してきました。

平塚市町内福祉村は、住民自身が共に支え合う仕組みづくりの拠点として平塚市が官民一体となって推進しているものです。市内の公民館区（25地区）に開設されています。「大神地区よりきの郷」では、地域のボランティアを主体としたサロンや趣味・教養といった「居場所の提供」や「ちよつとした困りごとの生活支援」などの活動を精力的に行っています。お話を伺って、地域のボランティアの皆さんが主体的に楽しみながら活動を行っているのが印象的でした。大変

実りのある視察研修となりました。地域での「つながり」や「ささえあい」を推進している賑岡地区とし

の心』がさらに育まれたのではないのでしょうか。

そして、注目すべきはデイサービスの取り組み方です。会場にはたくさんボランティアの方が参加して、デイサービスの利用者や地域の方々が大いに盛り上がりつつありました。このような活動でそれぞれの立場を超え、一体となった関係性が地域福祉の向上につながっていきます。このような輪がさらに広がっていくことを期待します。

ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



ても「大神地区よりきの郷」のようなみんなで創る住民主体の活動を推進してまいります。  
また、研修後は鎌倉方面へぶらりと観光も楽しませていただきました。ご参加いただいた皆様、お疲れ様でした。



## いざという時のために 備えよう!!!

2月1日（土）、大月市総合福祉センター6階において第2回賑岡地区社会福祉協議会研修会を開催しました。当日は区役員、民生委員児童委員、公民館関係、老人クラブ関係ボランティア関係など約40名の方に参加していただきました。

今回の研修会では近年、全国各地で数多く発生している想定をはるかに超えた大災害に対して、防災・減災に備えるため『災害に備えて自分たちにできることは？』をテーマにNPO法人災害・防災ボランティア



未来会 代表 山下博史氏を講師にお迎えし、災害に遭遇した際の身を守る術や災害に備えて用意しておくことなどの所謂『自助』や、周りの人をどうやって支援・手助けする『共助（協助）』について、ご講義いただきました。特に『共助（協助）』については、『共助』ではなく『協助』。つまり全員が同じ力を発揮して『共に助け合う』のではなく、『一人ひとりできることは違っても』それぞれ個性を尊重して互いに協力して助け合う』ことが重要で、これが被災につながっていくというものでした。

災害時には自分の身は自分で守るのが最優先ですが、被害を少なくするために地域での支援体制も必要不可欠です。自分の近所にはどんな方が住んでいて、いざという時には『どのような支援が必要になるか？』と『近所のネットワークの構築』も必要ですので、本会としてもネットワークの強化のために、研修会等を今後も継続してまいります。

今回の研修会は、先生の実体験やユーモアを交えていただきながら、楽しく、有意義なものとなりました。

